

京都教区時報

京都教区広報委員会
編集長 村上透磨
京都市中京区
河原町通三条上る
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345
kouhou@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 079-431-8601

2頁～3頁 2016年 教区行事あれこれ

4頁～5頁 京都北部ブロックの紹介

2016年 司教年頭書簡 御父のように、いつくしみ深く

11. 聖霊の導きにゆだねて人をゆるす

わたしたちが、罪のゆるしをねがい、告白するとき、御父からあわれみの愛があふれ出ますが、自分を侮辱した人に対して心を開かないかぎり、あわれみのこの流れは、わたしたちの心までたどりつくことはできません。わたしたちが人から受けた侮辱やその心の傷を乗り越えていくには、自分自身を聖霊にゆだねるしかありません。人間は、聖霊のはたらきのもとに罪を痛悔し、回心して、罪を告白することができます。



わたしたちは、パウロが言うように、「霊の導きに従って生きていくなら、霊の導きに従ってまた前進しましょう。うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたみ合ったりするのはやめましょう」(ガラテヤ5・25～26)。

互いにあわれみ深く、ゆるし合うために、聖霊の導きに自己をゆだねて、霊の実に(同5・22)をむすぶ素直な心にしていただきますように。

(年頭書簡より)

12
2016



時報4月号
掲載

3月5日 ガブリエル 大塚乾隆神学生 助祭叙階式



時報5月号
掲載

3月19日 ステファノ 北村善朗神父 司祭叙階二十五周年 銀祝感謝ミサ



3月23日 聖香油ミサ



時報3月号
掲載

1月23日 トマス・アキナス 村上透磨神父 司祭叙階五十周年 金祝感謝ミサ



時報6月号
掲載

3月29日～31日 教区 小学生侍者合宿



3月2日 フランシスコ・ザビエル 溝部脩司教 帰天 京都教区 仮通夜・ミサ

2016年
教区行事
あれこれ

時報9月号
掲載



8月4日 比叡山宗教サミット「世界平和祈りの集い」



4月17日 教区 新信者のミサと集い

時報11月号
掲載



8月5日～7日 教区 中学生広島平和巡礼

時報8月号
掲載



6月18日 バルデス師60周年・西村師60周年・ノーサル師25周年 感謝ミサ

時報11月号
掲載



8月27日 教区 教会学校研修会

時報10月号
掲載



7月25日～28日 教区 高校生会 沖縄 夏の体験学習

時報12月号
掲載



10月8日～9日 教区 青年のための黙想会

時報10月号
掲載



7月26日～31日 ワールドユースター クラクフ大会 (ポーランド)

京都北部ブロックの紹介

京都北部ブロック担当司祭

小立花 忠

今年4月、京都府北部の各小教区は「京都北部ブロック」として誕生しました。旧舞鶴ブロックと旧宮津ブロックが一つになりブロック内の面積は広がりました。信者の数も多くなり、力を結集してブロック内での活動を展開していきたいと考えています。

小教区の数も変わりました。本年4月、適正配置により旧宮津ブロックは一つの小教区となりました。「カトリック丹後教会」の誕生です。本年3月まで旧宮津ブロックには六つの小教区(網野・



網野教会堂



加悦教会堂



宮津教会堂



岩滝礼拝堂



丹後大宮礼拝堂

岩滝・加悦・丹後大宮・宮津・峰山)がありました。数年前から適正配置の移行措置として六つの小教区は二つの共同体を形成していました。宮津与謝共同体(岩滝・加悦・宮津)と京丹後共同体(網野・丹後大宮・峰山)です。この二つの共同体が一つになって「カトリック丹後教会」となりました。六つの小教区がありましたから、当然、教会堂も六つありました。

現在も教会堂があります。しかし、名称が変わりました。それぞれ、「網野教会堂、加悦教会堂、宮津教会堂、岩滝礼拝堂、丹後大宮礼拝堂、峰山礼拝堂」となりました。主日のミサは現在、日曜日に2か所で行われています。午前9時から網野教会堂で、午前11時から宮津教会堂(ただし7月〜9月は加悦教会堂で)の2か所です。大きな祭日や行事の

ミサは原則として加悦教会堂で行われます。大きな祭日や行事のミサは午前10時から行われることが多いです。また、月の第3日曜日午後3時から英語ミサが宮津教会堂で行われています。週日(平日)のミサは週1回、それぞれの礼拝堂と教会堂でささげられます。「カトリック丹後教会」は本当に始まったばかりで、小教区運営や評議会の開催なども六つの小教区、それぞれの方法で行っていましたから、現在、どのように運営していくのか手探りで討議しながら、最良の方法を見つけようとしています。なお、丹後教会の所在地は旧宮津教会と同じ住所となっています。郵便物や連絡などは

〒625-0123

宮津市宮本500

TEL 0772-22-3127
 FAX 0772-22-3684



峰山礼拝堂



西舞鶴教会



東舞鶴教会



福知山教会



報恩寺記念聖堂

へお願いします。

一方、旧舞鶴ブロックにも、この数年で変化がありました。2年前まで旧舞鶴ブロックには五つの小教区(綾部・西舞鶴・東舞鶴・福知山・報恩寺)がありました。昨年4月、綾部・福知山・報恩寺が一つの小教区となり、「カトリック福知山教会」となりました。福知山教会はJR福知山駅南口から徒歩3分の場所にあり、昨年5月に聖家族聖堂として献堂されました。旧綾部教会(現・綾部祈りの家)は本年11月に売却予定です。また、旧報恩寺教会の聖堂は「報恩寺記念聖堂」として福知山教会の施設の一つとなっています。主日のミサは福知山教会聖家族聖堂で、日曜日午前9時から午前11時からの2回、行われています。月の第4日曜日の午前11時から英語ミサとなっています。週日(平日)のミサは

月曜日以外の毎日行われています。詳細はお尋ねください。所在地は旧福知山教会と住所などの変更になっています。

〒620-0940
福知山市駅南町一丁目247-1
TEL 0773-22-2347
FAX 0773-21-5113

西舞鶴教会と東舞鶴教会は少子高齢化の問題などがありますが、以前と変わっていません。主日のミサは偶数週の日曜日、午前9時から東舞鶴教会で、午前11時から西舞鶴教会で行っています。奇数



綾部祈りの家

週は午前9時から西舞鶴教会で、午前11時から東舞鶴教会となっています。月の第3日曜日午後3時から西舞鶴教会で英語ミサが行われています。週日(平日)のミサは週1回西舞鶴教会で行われますが、他の日は小教区内の各聖堂で行われています。詳しくは京都教区ホームページなどでご確認ください。

京都北部ブロックは、丹後・西舞鶴・東舞鶴・福知山の4小教区となりました。2年前までは11小教区でした。大きな変化がありました。ブロック運営、小教区運営など、まだまだ体制が整っていないと思います。しかし、悩みながらも一つひとつイエス様と相談しながら祈りの中に歩んでまいりたいと思います。どうぞ、新しく誕生した京都北部ブロックのために、皆様のお祈りを願います。

青年のための黙想会

教区の信仰教育委員会主催、「青年のための黙想会」が、10月8日～9日、北村善朗師の指導で、望洋庵において行われ、京都教区内外から、16名の青年たちが参加しました。テーマは「イエスとの出会い」で、参加者はそれぞれ、「自分とイエスとの出会い」について黙想し、祈り、分かち合いました。

今回は、レクチョ・ディヴィナの方法で聖書を静かに、そしてゆっくり繰り返し読んで黙想しました。一日目、第一回は、ルカ17章11節～19節「イエスが重い皮膚病を患っている10人の人をいやす」、二日目、第二回は、ヨハネ20章11節～18節「復活したイエスがマグダラのマリアに現れる」、第三回は、ルカ5章1節～11節「ペトロを弟子にする」を読みました。イエスと出会うために、心の準備をし、素直に心を開き、聖書を聴く。心に触れた単語またはフレーズを注意深く聴く。心に触れた単語またはフレーズを分かち合う。心に触れた単語またはフレーズから何を聴き取り、見出すか？ 自分の体験や日常と重ね合わせ、結びつけながら分かち合いました。そして、最後に北村師の聖書の解説が行われました。また、一日目の就寝前に『教会の祈り』新しい聖務日課』を使って聖体礼拝と祈り、ふりかえりを行いました。祈りと黙想によって、イエスとの出会い、神と対話すること、自分をみつめることを体験した二日間でした。



参加した青年たちが、この黙想会でいただいた恵みを日常で多くの人と分かち合い、信仰の恵みを伝えていくことができますように。

信仰教育委員会

良書紹介

今こそ原発の廃止を

日本のカトリック教会の問いかけ

未来世代を含めた、

すべての「いのち」を守るために

2001年に発表された脱原発司教団メッセージに対する、科学的、哲学的、神学的裏づけ。

核エネルギー利用の歴史、原発事故当事国日本の責任、各技術に関する科学的・技術的解説、核をめぐる倫理的考察、自然エネルギーの可能性、新たなライフスタイルの提案。

大塚喜直司教 推薦



編者 日本カトリック司教協議会

発行 『今こそ原発の廃止を』編纂委員会

定価 本体 1800円＋税

12月のお知らせ

教 区

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ㊥㊦

聖書講座「神の正義と神のいつくしみ」

感謝と派遣のミサ

日 時：8日㊥ 10:30

会 場：河原町教会 聖堂

よく分かる聖書の学び(ヨハネ福音書を読む)

日 時：14日㊥ 10:30

講 師：北村 善朗師 / 参加費：300円

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

小教区・修道会

河原町教会

東日本・熊本被災地支援

クリスマスチャリティーコンサート

日 時：18日㊥ 14:30

内 容：女声合唱団「ミルテンクランツ」

ハープ独奏(山本 真帆)

合唱(河原町教会聖歌隊)

パイプオルガン(桑山 彩子)

クリスマス市民の集い

日 時：24日㊥ 18:30

内 容：コンサート

祈り(みことばの祭儀)

キャロル合唱

主の降誕ミサ

日 時：24日㊥ 21:00

25日㊥ 7:00 / 10:30 / 12:00(英語)

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

キリスト教霊的同伴(松田 浩一師)

日 時：2日㊥ 20:00 ~ 3日㊥ 15:00

参加費：6,500円

待降節の黙想会(中川 博道師)

日 時：10日㊥ 17:00 ~ 11日㊥ 16:00

テーマ：夜霧のように静かに訪れる神を待つ

参加費：7,500円

一般のためのカルメルの霊性セミナー

(松田 浩一師)

日 時：13日㊥ 17:00 ~ 14日㊥ 16:00

テーマ：十字架の聖ヨハネの霊性 2

参加費：7,500円

諸 団 体

望洋庵 / Tel.075(366)8337

Eメール bouyouan.seinen@gmail.com

青年のための聖書入門講座

日 時：1日㊥ 19:00 / 15日㊥ 19:00

テーマ：講座の次の主日の福音箇所

対 象：青年男女(初めての方歓迎)

参加費：200円(食事代含む) (申込不要)

はじめての黙想会

日 時：9日㊥ 10:00 ~ 16:30(15:30ミサ)

参加費：1,000円(食事代含む)

(電話で申し込んでください)

月イチ黙想会

日 時：17日㊥ 14:00 ~ 17:00

対 象：青年男女(初めての方歓迎)

参加費：200円(申込不要)

京都カトリック混声合唱団

練 習：11日㊥ 14:00

カトリック会館 6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：1日㊥ 10:00 / 8日㊥ 13:00

カトリック会館 6階

聴覚障がい者の会(どなたでも参加可)

手話ミサとクリスマス会

日 時：6日㊥ 11:00 ~ 14:00

会 場：河原町教会 地下

参加費：700円(昼食代)

申込要：Tel・Fax.075(723)1135 傳(つとう) 裕子

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイAスポーツプラス
毎週土曜日 朝 7:45

シリーズ「小さな気づきを大切に」

出演は阿南 孝也氏(洛星中学高等学校 校長)

ラジオ(KBS京都) ㊥ ~ ㊥ 朝 5:55

㊥ 朝 5:15

12月のテーマ「誕生の喜び」

※ 2017年2月号の原稿締切り日は12月14日㊥です。

大塚司教の

12月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 2日(金) 11:00 中央協 列聖推進委員会
 3日(土) 13:30 第17回 教区宣教司牧評議会
 4日(日) 東京 目黒教会 待降節黙想会
 6日(火) 10:00 中央協 常任司教委員会
 18:00 日本カトリック神学院
 常任司教委員会(東京キャンパス)

- 7日(水) 10:00 日本カトリック神学院
 常任司教委員会(東京キャンパス)
 10日(土) 11:00 子羊会 創立60周年感謝ミサ
 11日(日) 14:00 津教会 英語ミサ
 12日(月) 14:00 司教顧問会
 14日(水)-15日(木) 臨時司教総会(中央協)
 16日(金)-22日(木) ローマ(ユスト高山右近
 列福式準備)
 19日(日) 13:30 メリノール女子学院 理事会
 24日(土) 21:00 主の降誕深夜ミサ(河原町)
 25日(日) 10:30 主の降誕ミサ(河原町)

ネットワークミーティング in 鹿児島

河原町教会 栗山 透

ネットワークミーティング(以後NWM)とは全国の青年や青年を支えている司祭、修道者が集まって信仰について分かち合ったり、各教区の青年活動の情報を交換しあったりする大会です。9月24日~25日に鹿児島で開催され、京都教区から8名が参加しました。テーマは「ゆ(ゆ)くいきやんせ~467(よくろんな)~」(鹿児島の方言でゆっくりしてくださいねという意味)で、467年前にキリスト教が伝来した鹿児島で自分の信仰がどのように受け継がれ、育まれていったのかをじっくり考えるよい機会となりました。参加者の感想を紹介します。

久しぶりのNWM参加でした。キリスト教が初めて日本に伝わったというこの地で、自分の信仰の原点について考えるというのはとても面白かったです。桜島に見守られてゆったりとした楽しい時間が過ごせました。
(九条教会 K.M)

鹿児島が環境が活かされており、ゆったりとした時間や温かい雰囲気の中で分かち合いができました。日常生活においても、焦らず、

慌てず、自分のペースで様々なことに気付いていけるように頑張ろうと感じました。
(匿名希望)

今回のNWMは私にとっては初めてのNWMでしたが、鹿児島島の美しい自然に囲まれて、のんびりしながら全国の仲間と共に素敵な時間が過ごせました。神様ありがとう!! 足湯と温泉も最高でした。(岡山教会 Y.K)

今回のNWMはテーマの「ゆくいきやんせ」の通り、ゆったりとした時間の中で鹿児島島を楽しむことができました。普段会えない全国の青年と分かち合いができたことが新鮮でした。(西舞鶴教会 M.K)

2回目のNWM参加でした。テーマの通り、ゆったりとしたスケジュールで、班の人や友達、たまたま近くにいた人など、たくさんの人と話す機会を得ることが出来ました。これからも同じ信仰を持つ人たちと集まる機会を持ちたいです。(唐崎教会 R.N)

土地の豊かさや人の暖かさに触れ、ゆっくりすることのできた良いNWMでした。分かち合いではキリストとの出会いやそもそものキリスト教について、改めて考える時間を頂けたことに感謝します。(河原町教会 Y.H)